

日本訪問歯科協会は、2000年の設立より、訪問歯科・口腔ケアの理解と普及のための活動を続けています。在宅ケア現場のみなさんにも口腔ケアへの理解を深めていただくこと、2014年5月19日にスタートしたのが、「口腔ケアチャンネル」による無料動画配信です。

なぜ「動画配信」なのか

「利用者さんへの口腔ケアが、なかなか浸透しない」。在宅ケア事業者の方々から多く受ける相談です。お話をうかがう過程で、在宅ケアの現場が抱える3つの問題が、こうした現状をもたらしていると感じました。

① 口腔ケアのための「時間」が不足している

看護・介護職のみなさんは、毎日時間に追われながら利用者さんのお世話をしているため、1人ひとりの口腔ケアに割ける時間が限られています。

② 口腔ケアの「知識」が不足している

利用者さんは、お口の中をのぞかれる口腔ケアを嫌がち。そのため口腔ケアの重要性を伝えるための説明も難しくなります。説明する側に十分な知識がなければ、適切な説明はできません。

③ 口腔ケアの「技術」が不足している

間違った口腔ケアによって、利用者さんの歯肉を傷つけたり、ドライマウスを引き起こしたりするケースがあります。これは、適切な歯科医師や歯科衛生士との連携不足などで、細かい技術指導を受けられていないのが原因です。

また、利用者さんのお宅でケアを行うため、互いの実践を見て学ぶことがなく、「本当にこれでいいのか？」と不安を感じながら口腔ケアを行なっているケースも多いでしょう。

この3つの問題のうち②③は、訪問歯科を行ない実績のある歯科医師や歯科衛生士による口腔ケアの講習を受けることで解決します。しかし残念なことに、多忙な看護・介護職のみなさんにとっては、まとまった時間をつくって講習を受ける

口腔ケアの ワザを動画で

日本訪問歯科協会
迫克博

こと自体、難しいのが現状です。

そこで、口腔ケアに必要な情報を短い時間で効率よく学べるようにとスタートさせたのが「口腔ケアチャンネル」です。口腔ケアチャンネルでは、口腔ケアに必要な知識やテクニックを、さまざまなテーマごとに3分未満の動画にまとめて、無料で毎日配信しています。

技術も知識も見て学べる

配信される動画の内容を紹介しましょう

う。たとえば『意外と見落とされている！口腔ケア後は……』という動画では、口腔ケア後の保湿について解説します。

動画には、ナビゲーターの現役歯科医師とアシスタントが登場します。歯科医師は、「粘膜清掃がお口のなかをキレイにする一方で、ケアを受ける側は唾液が吸い取られるために、口が乾燥して非常につらくなる」ことを説明します。その対応法として紹介するのが、お口のなかを潤す保湿剤です。

保湿剤の塗り方は、アシスタントをケアの受け手に見立てて、歯科医師がその場で実践しレクチャーします。動画で正しい口腔ケアの方法を見ることができま

すから、間違った方法で利用者さんのお口を傷つけてしまうことはなくなり、短時間で効果的な口腔ケアができるようになるでしょう。

口腔ケアチャンネルでは、このような手技以外に口腔ケアの重要性などの知識についても、わかりやすく説明しています。訪問歯科の制度についても、在宅ケアを提供する側の視点で、わかりやすく解説されています。

今後は訪問歯科の質の担保も

高齢社会の進行で、在宅医療・看護・介護は、その重要性をいっそう増してい

ます。しかし在宅医療の一翼を担う訪問歯科は、「訪問診療に実績のある在宅療養支援歯科診療所の数が不足している」という大きな課題を抱えています。

さらに、提供される訪問歯科診療や口腔ケアサービスの質に大きなバラつきが見られることも事実です。そのため、訪問看護・介護のみなさんからは、「どの先生なら安心してまかせられるのか、わからない」などの声があがっています。

そこで、訪問歯科医師の質を担保するため、当協会は認定医制度を制定しました。認定医制度は、訪問歯科診療にあたる専門的知識と経験を有する歯科医師・歯科衛生士・訪問歯科コーディネーターを育成するとともに、国民の健康福祉増進に寄与することを目的としています。

さらに、地域で訪問診療を行なっている医師や訪問看護師、ケアマネジャーの方々と、訪問歯科医師とのネットワークを構築するために、地域医療介護連携研究会（略して「ちれんけん」）の立ち上げを各地で進めています。

このように各方面との連携を深めながら、当協会は今後も訪問歯科・口腔ケアの理解と普及のための活動を続けていきたいと考えています。

◎ 口腔ケアチャンネル
<http://goo.gl/JgB5tr>

